

アカカミアリ

目科名：ハチ目アリ科
学名：*Solenopsis geminata*
原産地域：北アメリカ南部～中央アメリカ

【どんな被害を引き起こすのか】

生態系：在来アリの駆逐

- ・鳥のひなや爬虫類の幼体、チョウの幼虫や卵を食べる
- ・硫黄島では他の在来アリ類を駆逐し最優占種に

産 業：農作物への被害

- ・農作物の害虫であるアブラムシを増やす

生 活：停電や火災の発生

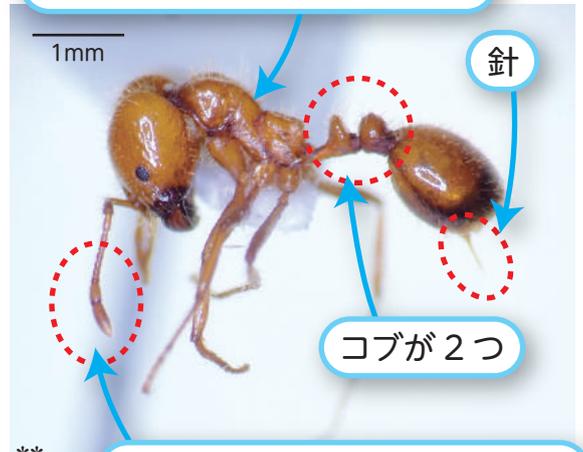
- ・配電盤等に侵入し、配線をかじる

健 康：お尻の針で刺す

- ・毒の強さはヒアリほどではないが、アレルギーの症例は多く、アナフィラキシーショックを起こす場合もある



脚、胸部、腹部に立毛が多い



触角の先端 2 節が大きく膨らむ

【生息場所・行動・食べ物】

- ・裸地や草地等の開けた環境に生息し、土中に営巣
- ・働きアリは、数千～10万匹に達することもある
- ・巣に刺激を与えると、集団で現れて腹部の針で激しく刺す
- ・ヒアリのようなドーム状のアリ塚は作らない
- ・雑食性
- ・高い採餌能力をもち、草の種子や他の小型節足動物等を食べる



アカカミアリの巣

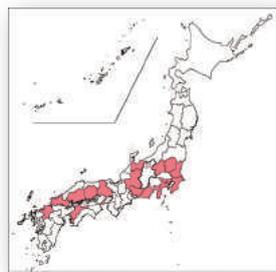
【どこまで広がっているか】

長野県では

- ・2018年4月に長野市で確認
- ・2019年12月現在、県内での分布なし

全国では

- ・硫黄島で定着
- ・沖縄本島、伊江島、南鳥島で記録があり、米軍物資輸送と関連した侵入との推測
- ・2017年以降、東京や兵庫等、全国の港で確認



2019年現在
確認事例あり

- ・全体が黄褐色～赤褐色で光沢がある
- ・大型の働きアリでは頭部が巨大化する



女王アリ 7～8mm



働きアリ 3～5mm

【間違わないで！】

ムネアカオオアリ (在来種)

コブが1つ ***

黒と赤の
ツートンカラー 働きアリ
7～12mm

クロヤマアリ (在来種)

コブが1つ ****

艶消し黒色
(灰色) 働きアリ
4.5～6mm

アメイロアリ (在来種)

コブが1つ ****

飴色
(黄色～黄褐色) 働きアリ
2～2.5mm

【発見したときは】

- 疑わしいアリを見つけた場合は、触らない
- 巣を刺激しない！（突っついたりしない）
- 環境省ヒアリ相談ダイヤル（0570-046-110）か、お住まいの市町村または県地域振興局環境課に連絡する
- 同じようなアリが発見現場の周りにいないか観察し、可能な範囲で集団の状況を把握する
- 少数個体のみであればスプレーや液剤、熱湯等で駆除する（駆除した個体は、種を特定するために必要です）
- 発見場所が段ボールやコンテナ内で、個体が多数いた場合は速やかに密封・目張り等をする
難しい場合は、刺激せずそとしておく

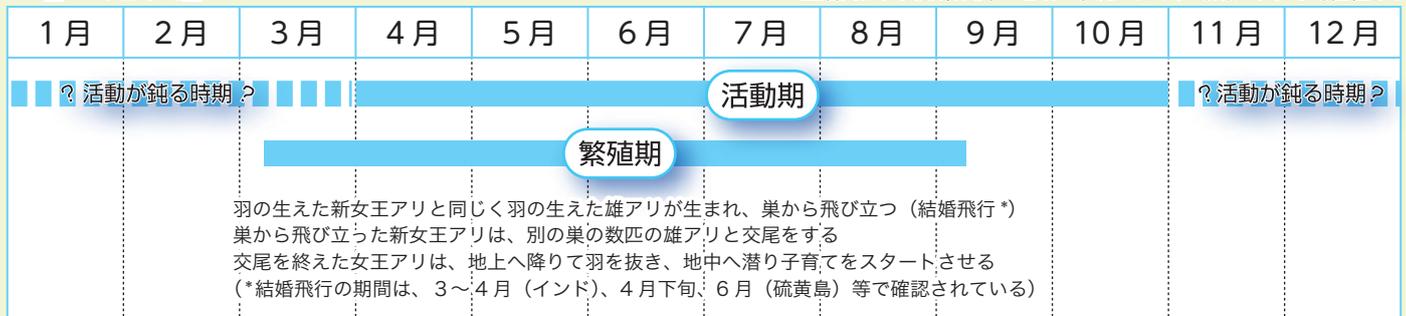
【刺されたときは】

※日本においては死亡例なし

- 刺されると、アルカロイド系の毒によって非常に激しい痛みを覚え、水泡状に腫れる
- 刺された直後
 - ・ 刺された場所を冷たいタオルや保冷材で冷やす
 - ・ 20～30分程度は横になる等ゆっくり休み、じんましん等の体調の変化がないか注意する
 - ・ 軽度の症状のみであり、悪化する様子がなければ、その後医療機関を受診
- 容体が変化した場合（呼吸が苦しい、激しい動悸、めまい等）
 - ・ 症状が急速に進むため、一番近い医療機関をすぐに受診
 - ・ 受診時は、「アリに刺されたこと」「アナフィラキシー症状の可能性があること」を伝える

【生活史】

※生活史は、長野県以外の地域の事例のため、時期がずれる可能性あり



【防除方法】

通報 早期発見が最も重要！

- 見慣れないアリがいたら、市町村または県に連絡をする ※生きたまま別の場所に移動させないこと

殺虫剤での個体の駆除 拡大を防ぐ

- 疑わしいアリを発見したら、まずは殺虫剤（スプレーか液剤）もしくは熱湯を個体に直接散布
- 駆除した個体は捨てずに、市町村または県地域振興局環境課に連絡（種が特定できていなくてもOK）

巣の駆除 根絶を目指す

- ◎主に市町村や地域振興局が担当します
 - ◎アカカミアリの巣の駆除を検討される場合は お住まいの市町村または県地域振興局環境課にご相談ください
 - バイト剤の設置は、巣の範囲の把握状況によって方法が異なる ※バイト剤とは、餌として巣に持ち込まれるタイプの殺虫剤のこと
 - ・ 巣の範囲が分かっている場合
巣の範囲を囲むように、液剤を散布し、バイト剤を設置する
 - ・ 巣の範囲が不明の場合
トラップによるモニタリング等によって巣の範囲をできるだけ特定し、バイト剤を設置する
(巣の範囲を特定する前に液剤散布をしてしまうと、女王アリが逃げ出してしむことがある)
 - 実施時期は、活動が活発な時期
 - バイト剤及び液剤は、市販のアリ用の遅効性の薬剤を使用
- ※間違っ在来アリを駆除すると、かえってアカカミアリが定着しやすくなる可能性があります

地上で見られる個体は、地域に生息している集団のごく一部。そのため、これらの個体を殺虫するだけでなく、巣にいる多くの個体を効率的に駆除する必要があります。